

経済学の歴史：A . スミスから現代まで

History of Economics

科目提供大学名	関西学院大学
担当教員	本郷 亮(経済学部教授)
単位数	2単位
最大授業定員	54名
開講学期	後期2時限(13:20~14:50) 金曜日(9月27日~1月17日、12月24日~1月6日は冬休み期間)
成績評価	出席、平常テスト(2回)
テキスト	特になし
参考文献	ナイアル・キシテイニー 『若い読者のための経済学史』 すばる舎(2018年)
授業以外の学習方法	授業で配布したレジュメの復習。上記参考文献の関連ページの精読。
その他の特記事項	特になし
講義概要	本講は、経済学の歴史に関する基礎知識を学ぶことを通じて、(1) 学生自身が経済学の形成・展開を説明できるようになること、(2) 現代の経済学のあり方、あるいは現代の社会経済のあり方を、批判的・相対的に見る能力(批判的思考という汎用的能力)を養うこと、の2つを目的とする。経済学の過去を学ぶことは、その現代、さらにはその未来を考えるためにも有益である。歴史的観点から「経済」や「社会」を見ることの意義と面白さを伝える。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歴史のなかの社会科学(1)：方法論 2. 歴史のなかの社会科学(2)：経済学の誕生 3. 市場の自己展開 4. 古典派経済学(1)：リカード、マルサス、ミル 5. 古典派経済学(2)：思想的側面 6. 産業革命 7. マルクスの社会主義経済思想 8. 近代経済学の形成：限界革命とケンブリッジ学派 9. ケンブリッジ学派の展開(1)：ピグーの厚生経済学 10. ケンブリッジ学派の展開(2)：ケインズ革命 11. ケインズと近代マクロ経済学 12. ドイツ歴史学派 13. オーストリア学派 14. アメリカの経済思想(1)：シカゴ学派 15. アメリカの経済思想(2)：制度学派